

2013年新年号

(年4回発行)

# OMSA会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

OMSA

## ▼ TABLE OF CONTENTS ▼

### 平成25年 年頭所感

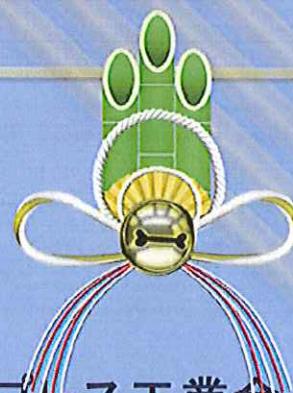
- ◇小林利典 近畿経済産業局長 ..... 2
- ◇松井一郎 大阪府知事 ..... 4
- ◇夏山享啓 大阪金属プレス工業会会长 ..... 6

### 平成25年 新春の集い ..... 8

- ◇1部 新春特別講演会
- ◇2部 賀詞交歓会

### 技術研究会・セミナーのご案内

- ◇金属プレス加工技術研究会 ..... 9
- ◇もう一度基礎から学ぶプレス加工と金型 ..... 11



社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

## 年頭所感



近畿経済産業局長 小林 利典

平成25年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日本経済は、従来から抱えていた財政再建問題や長引くデフレからの脱却等の構造的課題に加え、東日本大震災や原子力発電所事故、円高、欧州危機等の外的要因が重なり、かつてない厳しい状況に直面しております。また、電力需給についても、各層に節電対策に取り組んでいただいておりますが、引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、昨年の経済状況は各種の経済対策や大震災からの復興需要により持ち直し傾向にあったものの、下期には海外経済減速の影響に加え、エコカー補助金終了に伴う自動車生産の減少の動きもあり、足下では弱めの動きを示しております。

近畿地域についても、一般機械や電気機械等が低調なことや、全国に比して中国向け輸出の比率が高いため、中国経済の減速等による輸出の減少の影響が大きく、厳しい状況を迎えております。

少子高齢化で潜在成長率が低下する中、日本経済は縮小の連鎖で閉塞感に覆われております。こうした状況を打破するためには、高度成長期以来の「大量生産・価格競争」の成長モデルから「価値創造」モデルへ転換し、これまで以上にグローバル市場を開拓していくことが求められております。

近畿地域は世界的な大企業やオンリーワン技術を有する中小企業、トップレベルの大学、研究機関が集積しており、新たな商品、ビジネスを生み出すポテンシャルの高い地域です。また、歴史や文化、自然にも恵まれており、海外からの関心も高く、豊富な地域資源を有した非常に魅力的な地域です。

近畿経済産業局では、こうした近畿のポテンシャルを最大限に引き出し、育成・発信することで、国際拠点のハブとして世界に開かれた地域、産業の実現に努めてまいります。特に本年は、以下の取組を中心として、付加価値創造力と国際競争力の向上を目指します。

第一に、次世代のエレクトロニクス・エネルギー・システム関連分野における新産業の創出を目指します。近畿地域は、蓄電池や太陽電池、情報家電産業等の生産額が約8兆円にのぼり、多くの研究機関や工場が立地するわが国有数のメガクラスターを形成しています。この分野は、電力需給ギャップの解消や高齢化社会等の課題解決に貢献とともに、グリーンイノベーションを牽引する成長分野です。当局では、大企業から中小企業、大学、研究機関、産業支援機関等とともに、関西が一体となったプラットフォーム

ムを構築し、連携活動を多面的に展開することにより、新たなビジネスの萌芽を支援してまいります。

第二に、世界屈指の創薬・医療機器拠点の形成を目指します。近畿地域には、iPS細胞分野でノーベル賞受賞者を輩出した京都大学をはじめ、ライフサイエンス分野において世界トップレベルの大学、研究機関が集積しています。「関西イノベーション国際戦略総合特区」等における取組と広域的に連携しながら、近畿地域のポテンシャルを活かし、新たな医薬品が生み出されるような研究開発基盤の整備を図るとともに、中小企業のモノづくり技術を活かし、革新的な医療機器開発の推進及び再生医療の周辺産業の振興を図ってまいります。

第三に、デザインやコンテンツプロデュースといった創造的活動により生み出される感性に訴える産業（クリエイティブ産業）の振興を図ってまいります。近畿地域は、独創的なコンテンツを生み出す重要な要素である歴史、文化、自然を兼ね備え、かつ、教育機関の集積など次世代を支える創造人材の輩出力も大きい地域です。このような強みを活かした人的ネットワーク形成や新事業創出に向けた研究会等の様々なプロジェクトを開催し、世界に通じる新たなクリエイティブ産業を発信することで、“KANSAI”を世界にアピールしてまいります。

第四に、経済の担い手である中小企業の経営力向上と経営基盤の強化に取り組んでまいります。長引く円高や国内外の需要減退、関係企業の海外流出に新興国との競争激化等、中小企業が抱える経営課題は多様で複雑なものとなっております。これに対応するため当局では、サポインや新連携、地域資源活用プログラムなど、技術開発から事業化まで一貫した支援を行い中小企業の新分野進出を強力にバックアップしてまいります。また、中小企業の最大の課題である海外展開については、これまでに中国、タイ、ベトナムと協力文書を締結するなど、海外での民間企業の事業展開をサポートすることで関西の持つ技術力と海外マーケットを結びつけ、グローバル市場の取り込みを図ってまいります。

近畿経済産業局の職員は、現場主義をモットーに効果的に施策を活用し、近畿地域の活性化に取り組んでまいります。本年も経済産業政策への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様方の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 年頭所感



大阪府知事 松井 一郎

新年あけましておめでとうございます。

「変革と挑戦」。私は大阪が日本の直面する課題の縮図であり、大阪が変われば日本が変わるという強い信念で大阪再生に全力で取り組んでまいりました。その柱のひとつが新たな大都市制度の構築です。知事就任直後、橋下市長とともに、府市統合本部という枠組みを設け、広域行政の一元化や二重行政の解消に道筋をつけてきました。そして昨年は新たな法律が制定され、今年はいよいよ実現に向けた重要なステップの年となります。

府民、市民の皆さんとしっかりと議論しながら、府市の壁を取り払い、大阪の資源の「全体最適化」を実現するため、新たな大都市制度づくりを加速させていきます。そして大阪発の新しい地方自治、地方分権の姿を全国に発信していきたいと考えています。

知事就任以来、成長と安全・安心の両立、その相乗効果による「良き循環」の実現をめざしています。「大阪の成長戦略」の要は、「関西イノベーション総合特区」です。昨年、大阪にお住いの山中京都大学教授がノーベル賞を受賞されました。iPS細胞の応用をはじめとするライフサイエンス、あるいは新エネルギーは、我が国のこれから発展を支える重要な分野です。内外から企業を呼び込むため、規制緩和の取組みだけでなく、他を圧倒するインセンティブとなる全国で初めての「地方税ゼロ」の制度を創設しました。新たな分野に果敢に挑戦する中小企業も応援しながら、アジアの中で、確かな存在感を發揮していきたいと考えています。

東日本大震災からまもなく2年になります。大震災を教訓に、「防災」はもとより、「人命を守ること」を何よりも重要と考え、被害を最小限にいくとめる「減災」の取組みの大切さを改めて認識する必要があります。府民の皆さんには、「逃げること」、「しのぐこと」を第一に考え方行動していただけるよう、日ごろから備えていただきたいと思います。災害に強いまちづくりに向け、国が公表した被害想定を踏まえながら、ソフト、ハード両面から必要な対策を着実に講じていきます。

そして、原発依存度が高い大阪・関西が持続的な成長を実現するためには、中長期的に原子力発電への依存度を低下させ、「安全」「安定」「適正価格」のエネルギー供給体制を確立することが重要です。新エネルギー産業や技術力の高

い企業の集積といった大阪・関西のポテンシャルを活かし、新たなエネルギー社会の先導役をめざして取組みを進めてまいります。

大切なことは次代を担う人づくりです。「教育」は未来への投資でもあります。これからの方々は、否応なしにグローバル社会の中で生き抜くことが求められます。大阪は助け合いとともに、社会全体で子どもたちを育む温かい土壤があると思います。子どもたちが、将来に夢や希望を持ち、自らの力と個性を發揮してチャレンジできるよう、「自立」と「自律」を目標に、学校、家庭、地域など社会総がかりで大阪の教育力の向上をめざしてまいります。

日本は既に人口減少・少子高齢社会に突入しています。一方で、成長著しいアジアの諸都市との厳しい競争にさらされています。こうしたなか、政治や行政の役割は、右肩上がりの成長期のように増えるパイをどう配分するかではなく、都市や地域が厳しい競争に挑むため、持てる力を最大限発揮できるように知恵を絞り、決断し、実行していくことにあります。そのためには、大きな方向性をしっかりと示し、改革を阻害する既存の制度の壁を打ち破っていくことが重要です。

大阪では今、大都市制度や総合特区制度など、様々な分野で全国に先駆けた取組みや新しい提案を行っています。こうした積み重ねが必ずや全国に波及し、我が国全体の再生につながっていくものと信じています。道のりは険しいですが、臆することなく信念をもって突き進んでまいります。

皆様の一層のご理解と協力を願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。



大阪府からのお知らせ！

### トピックス

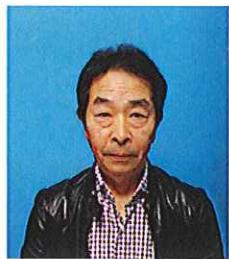
#### ・感染性胃腸炎が急増しています！New

大阪府内での感染性胃腸炎の患者報告数が例年より早いペースで急増しています。府内約200の医療機関(定点医療機関)から報告のあった患者数は、第43週(平成24年10月22日から10月28日)から連続して増加し、1医療機関あたりの1週間の平均患者数は、第46週(平成24年11月12日から11月18日)時点で19.2人と警報発令の基準値である「20」に迫る勢いです。また、同時期よりノロウイルスによる集団発生の報告数も増加しています。

感染性胃腸炎は、冬に増加し、高齢者、乳幼児等では重症になることがあります。感染予防及び拡大防止に努めてください。(平成24年11月26日更新)

- [ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎にご注意\(感染経路、感染予防のポイント等\)](#)
- [大阪府の発生状況\(感染症情報センター\)\(外部サイト\)](#)
- [感染性胃腸炎の集団発生状況\(報道提供資料:毎週火曜日14時更新\)](#)
- [感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について \[PDFファイル／134KB\]\(平成24年11月15日付 関係機関あて注意喚起通知\)](#)

# 年頭のご挨拶



(社) 大阪金属プレス工業会  
会長 夏山 享啓

新年明けましておめでとうございます。

平素より会員の皆様方におかれましては工業会の事業運営に関し多大なるご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済はリーマンショックよりようやく回復の兆しが見えかけた矢先の東日本大震災、その影響による福島原子力発電所の事故、節電要請や電気料金の値上げ、又、長引くデフレ経済、そしてギリシャに端を発した欧州危機、円高と特に日本の基幹産業の一翼を担う我々製造業、金属プレス業界を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。

この様な状況下では日本の経済産業界の両輪とも言うべき自動車業界、家電業界の海外生産シフト、又、海外調達が益々進むものと予想されます。

大阪金属プレス工業会としましてもこの様な非常に厳しい経済環境の中、従前にも増して会員の皆様方のニーズをタイムリーに事業に展開して参る所存でございます。どうか御協力の程お願い申し上げます。

一方、政治の世界に目を転じますと 12月 16日の衆議院選挙で自民党が圧勝し 5年 3ヶ月ぶりに第二次安倍政権が誕生致しました。

選挙中より日銀に対し、さらなる金融緩和を訴えインフレターゲット 2%を要求しております。そのせいかどうかは別にしまして、為替は対ドルベースで 83 - 85 円台、対ユーロでは 110 円台、そして株価は 1 万円台を回復致しました。ご祝儀相場かも知れませんが発言力のある政治家の言動に左右される経済には驚くばかりです。日中関係、日韓関係についても外交問題のみならず経済面においても非常に大きな意味がございます。

早期の関係修復が期待される所でございます。いずれにしましても 2013 年度が少しでも景気回復の足がかりがつかめる年になります様、心よりお祈りするばかりです。

一説には巳年は一陽来復、すなわち物事が良い方向に向かう年と言われております。くじけることなく気丈に考えて判断する、まさにこれこそが我々に今求められている精神ではないでしょうか。強い気持ちを持ってこの難局に立ち向かおうではありませんか。

最後になりますが、どうか本年が皆様方にとってより良い年になります様、又、当工業会が益々発展することを祈念致しまして結びの言葉に代えさせていただきます。



謹  
賀  
新  
年

本年もよろしく  
お願い申し上げます

副副副副会  
会会会会  
長長長長  
中佐新宮夏  
辻藤弘永山  
一憲享  
康進郎一啓

(社)大阪金属プレス工業会

平成二十五年元旦

2013 平成25年正月

やまほとときす カリ科  
*Tricyrtis macropoda*

星の数少なく、形も色調も  
やわらかく、清楚すら、花容  
をしています。  
あえて「やまほとときす」  
と命名しました。

昔、2度  
毎日尾と  
長野ひ  
ありげ  
の鳴声を  
きいています  
「ティパンカケタカ」  
「ティパンカケタカ」と  
どんな漢字を  
書いたのかと  
想像したりして  
たのしんでいます。

10月の25日に  
近所のHに  
咲いて見生  
したものです

536-0006 埼玉県野川2-14-10  
松葉二郎・美子



## 平成25年 新年賀詞交歓会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成25年を迎えるにあたり、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます

敬 具

記

【日 時】 平成25年1月22日(火)

第1部 新春特別講演会 **15:30**～17:00

演題:健康に○き 健康に○み 健康に○ぬ

講師:今 中 孝 信 氏(天理よろづ相談病院総合診療教育部アテンディングドクター)

第2部 新年賀詞交歓会 **17:15**～19:00

【会 場】 第1部 たかつガーデン 3階「ローズ」

第2部 " 2階「コスモス」

【参 加 費】 10,000円/人

三菱東京 UFJ 銀行上本町支店  
お振込先 (普)0487575  
(社)大阪金属プレス工業会

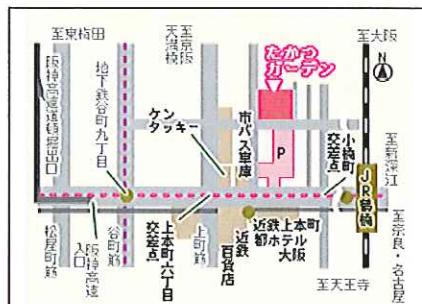
### 講師プロフィール

1936年 兵庫県生まれ  
1961年 大阪大学医学部卒  
1969年 同大学医学部助手  
1973年 医学博士号取得  
1972年 天理よろづ相談所病院  
1984年 同総合診療所教育部長  
1993年 同副院長 2000年退職

(社) 大阪金属プレス工業会宛  
FAX 06-6762-7633  
mail omsa1@omsa.or.jp

### 平成25年 新年賀詞交歓会参加申込書

会社名	○印お願いします		
役職名	氏名	講演会	懇親会
お支払い方法	<input type="checkbox"/> 振込 ( / 予定)	<input type="checkbox"/> 当日払	



大阪市天王寺区東高津町7-11

## 第89回金属プレス加工技術研究会

### 「これでわかる高張力鋼板：材料特性と成形性」

主 催 一般社団法人日本金属プレス工業協会  
協 賛 一般社団法人 愛知県金属プレス工業会  
社団法人日本金型工業会

自動車軽量化を目的として、高張力鋼板の適用が進んでいる。しかし高張力鋼板は伸びが小さい、スプリングバックが大きいなど、軟鋼板に比べて成形性に劣る。従って高張力鋼板のプレス成形技術を向上させるためには、その材料特性に関する理解を深めるとともに、高張力鋼板の成形性を理解した上でのプレス成形技術の先鋭化が必要である。本研究会では、高張力鋼板の最新動向について、材料特性、熱間成形性、スプリングバックや面ひずみに及ぼす影響因子、成形シミュレーションの観点から多面的に議論する。

【開催日】平成25年1月30日(水) 13:00 ~ 17:00

【会場】愛知県産業労働センター ウインクあいち

(愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL: 052-571-6131)

※ 会場の都合上、受付開始は 12:50 からとさせていただきます

【総合司会】東京農工大学 大学院工学研究院 先端機械システム部門 教授 桑原 利彦 氏  
【プログラム】

開会の辞 ----- 13:00~13:05

1 高強度鋼板の基礎知識:高強度化のメカニズムと材料特性 ----- 13:05~13:45  
新日鐵住金㈱ 技術開発本部 鉄鋼研究所 薄板研究部 主幹研究員 上西 朗弘 氏

材料の高強度化に用いられる手法について解説し、それらの組合せで実際の高強度鋼板がどのように設計されているかについて述べる。また材料強化手法との関連を考察することで実際の鋼板の変形特性がどのように理解できるかについて解説し、最新の高強度鋼板に対する理解を深める。

2 ホットスタンピングにおけるプレス成形性の検討 ----- 13:45~14:25  
新日鐵住金㈱ 技術開発本部鉄鋼研究所 研究企画室 主幹 楠見 和久 氏

ホットスタンピングは900°C程度に加熱した鋼板を水冷金型でプレス成形した後、金型中に保持・急冷して焼入する工法である。今回、この工法における曲げ・張り出し・深絞り等の熱間プレス成形性を検討した結果について報告する。

3 自動車外板パネル性能に及ぼす影響因子と高強度鋼板による軽量化の検討 ----- 14:25~15:05  
JFEスチール㈱ スチール研究所 薄板加工技術研究部 主任研究員 山崎 雄司 氏

自動車外板パネルに要求される耐デント性、面ひずみは、パネル薄肉化により低下する。これら性能の確保を目的として、材料強度、板厚、プレス成形条件等の影響を定量的に調査し、高強度鋼板適用による軽量化の可能性について検討した。

休憩 ----- 15:05~15:20

4 高張力鋼板のスプリングバックに及ぼす影響因子とスプリングバック予測の高精度化 ----- 15:20~16:00  
JFEスチール㈱ スチール研究所 薄板加工技術研究部 主任研究員 石渡 亮伸 氏

下死位置、プレス速度、プランクの位置、プランクサイズ、金型の弾性変形などのプレス条件の影響、及びにバウシンガー効果や弹性・塑性異方性などの材料のもつ機械的特性のスプリングバックに及ぼす影響について示し、スプリングバックの高精度化について述べる。

5 高張力鋼板の二軸引張試験と穴広げ成形シミュレーション ----- 16:00~16:40  
東京農工大学 大学院工学研究院 先端機械システム部門 教授 桑原 利彦 氏

高張力鋼板の二軸引張試験を行い、最適な異方性降伏関数を同定した。さらに同定した降伏関数及びそれ以外の精度の劣る降伏関数を有限要素解析ソフトウェアに組み込み、穴広げ成形シミュレーションを行った。その結果、二軸引張試験から同定された。最も精度の良い降伏関数を用いた場合に計算値が最も実験値に近くなかった。

総合討論 ----- 16:40~17:00  
総合司会 桑原 利彦 氏、講師全員

## 参 加 要 領

- ◆ 定 員 70名
- ◆ 参加費 本協会会員 7,000円 (テキスト代含む)  
会 員 外 12,000円 (テキスト代含む)

### ◆ 申込方法

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、  
ファックスにてお申し込みください。なお、  
本協会ホームページからでもお申し込みができます。  
→ <http://www.nikkkin.or.jp>

\* 受付完了後、メールまたはファックスにて「参加証」の  
送付をさせていただきます。

### ◆ 参加費のお支払い方法

平成25年1月28日(月)までに下記の銀行口座にお振込  
くださいますようお願いいたします。お振込み料はご負担  
下さいますようお願い申し上げます。

(お 振 込 先)

みずほ銀行 新橋支店 (普通口座) 1746965  
口座名)一般社団法人日本金属プレス工業協会

\* 当日の参加費のご持参については、十分な対応が困難な  
ため、お断りしております。

### ◆ キャンセル

当日にキャンセルされた場合は、ご入金いただきました  
参加費はご返金致しませんので予めご了承お願ひいたします。

### ◆ 締め切り

平成25年1月28日(月) (定員に達し次第締め切らせて  
いただきますので、お早目にお申し込みください。)

### ◆ 参加申込みのお問い合わせ

TEL: 03-3433-3730 FAX: 03-3433-7505 一般社団法人日本金属プレス工業協会

-----  
一般社団法人日本金属プレス工業協会 宛

FAX: 03-3433-7505

## 第89回金属プレス加工技術研究会参加申込書

御社名	連絡ご担当者お名前				
所在地 〒					
TEL	FAX	部署・お役職名 e-mail			
受付番号	お 名 前				
振込み予定日	参加費	円	月	日	に振込みます。

愛知県産業労働センター

ワインクあいち 案内図



- ◆ JR 名古屋駅桜通口から  
ミッドランドスクエア方面 徒歩 5 分
- ◆ ユニモール地下街 5番出口 徒歩 2 分

# セミナーへのお誘い

## もう一度基礎から学ぶ金属プレス加工と金型

### -「当たり前を再度見つめ、考えてみる」-

プレス加工は生産性が非常に高く、高精度の製品を大量にしかも安価に作れるといった優れた特性を持っており、機械・金属製品製造業において重要な産業技術の一つとなっています。ノウハウや経験が大いに物を言うプレス加工ですが、良い製品を作るためには加工の原理をきっちりと理解することが求められます。

本セミナーでは、基本となるせん断・曲げ・絞り加工を中心に取り上げ、それらの原理、特徴についてしっかりと学んでいただきます。さらに、プレス機械や金型に関する知識、トラブル事例を交え、実践にも役立つ内容に焦点をあて、わかりやすく解説いたします。

主な内容	1. プレス機械の機構、動作原理を知る プレス機械の能力を表す3つの要素 加工に応じたプレス機械の選定	(3)絞り加工 (4)加工する材料の特性をどのようにして考慮するか (5)プレス作業における段取り、自動化、安全
	2. プレス加工の種類と特徴 ～代表的な加工方法の基礎について理解を深める～ (1)せん断加工 (2)曲げ加工	3. 金型の機能と各金型部品の働きを理解する 4. プレス加工時のトラブル対策事例
日 時	平成25年3月15日(金) 9:20~16:20(会場受付:9時10分~)	
対象者	現場のリーダー及び現場従事者	
参加費	会員 4,000円 一般 8,000円	定員 40名(先着順)
講 師	小渡 邦昭 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター	
お申込み先 お問い合わせ先	社団法人 大阪金属プレス工業会 06-6762-8629	



会場地図

### 主催

一般社団法人 日本金属プレス工業協会

社団法人 大阪金属プレス工業会

社団法人 日本金型工業会 技術委員会

### 会場

新大阪丸ビル別館

〒533-0033

大阪市東淀川区東中島 1-18-22 丸ビル別館



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

mail:omsa1@omsa.or.jp